

第5回「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」策定委員会議事要旨

1 日 時

令和4年2月9日（水）15：00～16：30

2 会 場

WEB会議

3 出席委員

大友克之委員（委員長）、安田和夫委員、西本裕委員、増田和伯委員、岡本敏美委員、渡邊丈展委員、堤卓雄委員、野田正明委員、波賀野里美委員、那須史明委員

※欠席：澤田勝之委員

4 会議の形態

非公開

5 議 題

「第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画」最終案について

6 議事要旨

（事務局）

・パブリックコメントや県議会からの意見を踏まえ、計画素案を修正し、最終案を作成した。

（増田委員）

・県有スポーツ施設整備のKPIとなっているトイレの洋式化は、期間中に100%を目指せないか。

（事務局）

・将来的には100%としたいが、予算や他所の整備を考慮し、計画期間中の目標は85%としたい。

（岡本委員）

・福祉友愛プール・アリーナの利用促進施策のなかで、県内5圏域からの無料バスによる送迎との記載があるが、単に送迎ではなく、利用機会の促進という目的が強いため修正いただきたい。

（渡邊委員）

・レクリエーションを全県で推進するにあたり、県から市町村への説明会などの機会があれば、ぜひスポーツ関係団体の取組みも県の計画と一体的なものとして周

知いただきたい。

(波賀野委員)

- ・総合型地域スポーツクラブのなかには、経営基盤がぜい弱なところや自治体とうまく連携出来ていないところはまだあり、引き続き支援が必要。また、国による登録認証制度も始まり、どのように取り組まれるか気になるところ。

(那須委員)

- ・eスポーツを活用したリアルスポーツの振興は興味深い取組みで、海外のBリーグではeスポーツ専門チームをもっているクラブもあるほど進んでいる。引き続き検討して欲しい。
- ・部活動の地域移行においてスーパースとしても協力していきたい。

(安田委員)

- ・部活動の地域移行について、スポーツ少年団としても受け皿としての指導者の質と量について議論を進めているところ。特に課題となるのは指導者への謝金であるが、その点、各団や地域で様々であるのが現状であり、今後、さらに検討を進める必要である。

(増田委員)

- ・部活動の地域移行は、市町村教育委員会の本気度が重要であり、県が強いリーダーシップをとって推進して欲しい。

(大友委員長)

- ・部活動移行については、皆が関心を寄せているところ。地域全体で子どもたちを育てていくような思いで取り組んで欲しい。

(以上)